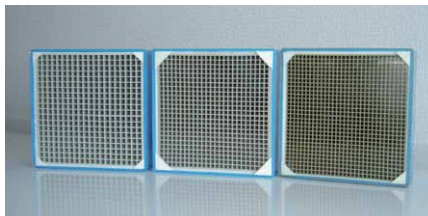


焼却時に発生するダイオキシン類を触媒で無害化

ダイオキシン類分解触媒

特徴

- 触媒上でダイオキシン類を分解するため、二次処理が不要
- 高い分解性能を有し、長寿命
- 当社の触媒は特殊な場合を除けば再生可能
- アンモニアを使用することにより、窒素酸化物も同時に除去することが可能



触媒写真



反応器写真

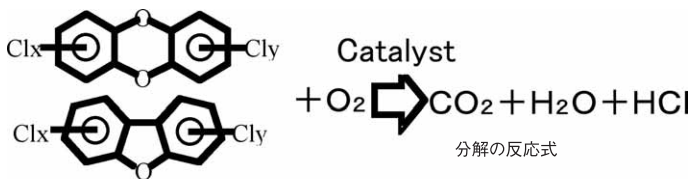
概要

(技術の原理・動作等)

近年、ごみ焼却炉排ガス中の窒素酸化物除去用途の需要は増加傾向にあります。更にここ数年ごみ焼却炉排ガス中に存在する微量のダイオキシン類の毒性がクローズアップされてまいりました。堺化学は窒素酸化物除去用触媒で蓄積した技術を生かし、本用途向けにダイオキシン類分解触媒を開発いたしました。堺化学は触媒の主原料である酸化チタンの供給から触媒に至るまで、一貫生産している世界唯一の企業であり、お客様の様々なご要望にもお答えできるものと自負しております。

《触媒仕様》

形状 : 150mm□ 四角格子状ハニカム
 ピッチ : 7.4mm(20セル×20セル)~3.7mm(40セル×40セル)
 成分 : 五酸化バナジウム、三酸化タングステン、三酸化モリブデン等、酸化チタン(担体)
 使用温度 : 160~350℃
 ダイオキシン分解性能 : 99%以上



■ 触媒寸法一覧表

	(mm)	7.4	6.0	5.0	4.2	3.7
ピッチ	(mm)	7.4	6.0	5.0	4.2	3.7
セル数	(セル×セル)	20×20	25×25	30×30	35×35	40×40
目開き	(mm)	6.23	4.98	4.13	3.65	3.19
内壁厚	(mm)	1.15	0.90	0.80	0.58	0.50
開口率	(%)	69.0	69.0	68.1	72.7	72.5
接触面積	(㎡/㎡)	442	553	660	795	908

導入実績

- 日本：ごみ焼却炉・産業廃棄物焼却炉・斎場等において110件以上の実績あり。標準装備されるケースが多い
- 韓国：ごみ焼却炉・斎場等において10件以上の実績あり。
- その他のアジア各国は件数も少ないが今後導入されるものと予測。

効果

- ◎ 焼却時に発生するダイオキシン類を99%以上分解除去
 (例) 触媒前 5ng-TEQ/Nm³
 ⇒ 触媒後 0.05ng-TEQ/Nm³
- ◎ アンモニアを使用することにより、排出する窒素酸化物濃度を50ppm以下にすることが可能
 (備考) 特別な運転制御が不要で、3年以上の使用が可能です。湿式洗煙やバグフィルターと組み合わせて使用するとより効果的です。触媒装置はコンパクトで、既存設備を改造し設置することが可能です。

堺化学工業株式会社 触媒事業部 営業部 〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目11番1号

● TEL / 06-6535-1551 ● FAX / 06-6535-1339 ● E-Mail / sales-t@sakai-chem.co.jp ● http://www.sakai-chem.co.jp/

※留意事項：本書は環境・エネルギー問題の解決のお役に立てると考えられる事例（技術・製品等）を紹介するものであり、これらについて移転・販売することを保証するものではありません。